

我、自閉症に生まれて

テンブル・グランディン著

2000年10月17日
(火)

我、自閉症に生まれて

1

話し言葉が出にくい

- 人が話していることはすべて理解していたが、私の反応は限られていた。応えようとしたのだが、話し言葉はほとんど出なかったのである。それは吃音にも似ていた。

2000年10月17日
(火)

我、自閉症に生まれて

2

大きな音は不快

- 大きな音は自閉症児を驚かせるばかりでなく、彼らにひどい不快感を与えるものである。

2000年10月17日
(火)

我、自閉症に生まれて

3

直接感覚が優先する

- 神経組織が発達途上にあるときは、直接感覚(触覚・味覚・嗅覚)が先に成長する。
- 鳥や哺乳動物では触覚が先に発達する。このことは、なぜ、損傷や未熟な神経組織を持った子どもが、直接感覚刺激を好むのかを説明している。

2000年10月17日
(火)

我、自閉症に生まれて

4

こだわり

- こだわりは建設的な方向へ向けることができる。こだわりを取り上げてしまうのは、賢いとはいえない。

2000年10月17日
(火)

我、自閉症に生まれて

5

締め付け機

- 多くの自閉症成人の中に見られる情動的共感の欠如は、子ども時代に抱擁や愛情表現から逃避したために、起こされたものではないだろうか。
- 締め付け機をすべての自閉症児に最上のものとして勧めることはできないなどと、大声で強調してはいけない。

2000年10月17日
(火)

我、自閉症に生まれて

6

刺激の洪水

- 自閉症児は、しばしば殺人的な刺激の洪水から逃れるために、環境と人とをシャットアウトしてしまう。
- 自閉症児は彼ら自身の安定した隠れ場所が必要なのだ。

2000年10月17日
(火)

我、自閉症に生まれて

7

普遍化

- 自閉症児は一つの課題をこなすが、その技能を別の課題に適用することができない。それぞれの課題を一つずつ取り上げ、そのどれも新しい課題として指導すること。
- 普遍化が始まると、その子どもは現実の世界に近づきつつあるのだ。

2000年10月17日
(火)

我、自閉症に生まれて

8